

日本共産党の藤木くにあきでございます。

私は、5つの項目について市長に、質問いたします。

質問の第一は、庄原保育所の建替えについてです。

市長は、3月議会での私の質問、すなわち、「庄原保育所の建替えについて、子どもたちにも、環境にも優しい保育所を建てるため、まず、基本構想を保護者のみなさんや保育所の職員みなさんの意見を良く聞いて定め、そして、基本設計をおこない、基本設計の段階で、また、保護者のみなさんや保育所の職員のみなさん、あるいは、地域のみなさんの意見を良く聞いたうえで、実施設計を作成すべきではないか」という、私の質問に対し、「基本構想については、そういった保育所になるよう定めていきたい」「要所、要所では、保護者、保育現場の職員の意見も聞きながらすすめていきたい」、また、「²⁰¹⁰年度以降の基本設計、実施設計をおこなうなかで、規模や構造、建築に使用する材質等について、保育士、保護者会等の関係者、及び関係課と十分協議し、子どもたちにも環境にも優しい保育所を検討する」と答えられました。そこで、質問いたします。庄原保育所の建替えについて、²⁰¹⁰年度に用地を取得するとされて

いますが、その前提となる「基本構想」は、どのようなものを定められたのか、まず、明確な答弁を求めるものです。

以後の質問については、質問席からおこなわせていただきます。

基本構想の具体的内容にもかかわる問題ですが、市長は、3月議会の答弁で、「保育定員を180名程度を想定している」「3歳未満児の入所希望が多くなっているので、今後庄原地域の児童の推移等を勘案して正式には決定したい」と答えられましたが、私は、定員は、200名程度に増やしておく必要があると考えています。保育定員は何名程度にされるお考えか、明確な答弁を求めます。

子どもたちにも、環境にも優しい、木造平屋建てにされるのか。また、窓は断熱性の高いペアガラス、完全冷暖房、床暖房にされるのか、明確な答弁を求めます。

市長は、3月議会で、「駐車場は100台程度を考えている」と答えられましたが、現在でも保護者の世帯数は100世帯を超えており、職員の駐車場40台程度を想定しても、少なくとも150台程度は確保しておかないと運動会などで保護者のみなさんや地域のみなさんの駐車場がないという事態になるのではないのでしょうか。明確な答弁を求めるものです。

こうしたことを、総合的に考えたとき、予定されている三日市町の7,200²m²の土地では、とても収まりきれないと考えますが、敷地面積は当初の計画より何m²程度増やすことにされたのか、明確な答弁を求めます。

国道432号線から南側に入る、市道上原戸郷線の幅員は狭く、歩道もない状況にあります。市長は、3月議会で、「信号機と歩道の整備について検討する」と答えられましたが、具体的な整備方針について質問いたします。市道上原戸郷線の部分は2車線とし、歩道は両側に整備されるのか、明確な答弁を求めます。

質問の第二は、薪ストーブ購入への助成金についてです。

地球温暖化が進むなか、環境にやさしい木材燃料が見直されてきています。私は、農村部の多い庄原市では、ペレットストーブだけでなく、ペレットを作る手間のまったく不要な、しかも生木の丸太でもよく燃える、2重燃焼する薪ストーブの購入にも、助成金を出されるべきだと、3月議会で質問し、市長は「検討する」と答弁されました。隣の三次市では、すでに、ペレットストーブに加え、薪ストーブの購入に、3分の1以内、上限10万円の助成金が出されています。検討の結果、2重燃焼する薪ストーブの購入に助成金を出すことにされたのか、明確な答弁を求めます。

質問の第三は、出産医療の再開についてです。

三次市の谷岡産婦人科が9月から産科を休止すると報道されましたが、三次中央病院だけで対応が可能なのでしょうか。明確な答弁を求めます。

当面、庄原赤十字病院での院内助産所の開設を急ぐべきではないでしょうか、明確な答弁を求めます。

質問の第四は、高齢者用駐車場の整備についてです。

市庁舎の駐車場が遠いので、市庁舎前広場に高齢者用駐車場を10台分程度整備すべきではないでしょうか。明確な答弁を求めます。

質問の第五は、盲導犬の導入に市独自の助成をおこなうということについてです。

盲導犬の更新時期を迎えた方がおられますが、九州盲導犬協会の場合、盲導犬の更新導入につき、2週間の宿泊研修費5万円、ハーネスの更新に2万円、往復の旅費約3万円、計10万円の自己負担が必要で、さらに、2週間の間のマッサージ業の収入が0円となります。これに対し、市独自の助成金を検討すべきではないでしょうか。明確な答弁を求めます。